

日本大学第三学園生徒支援会レター 定期総会号

2011年5月17日発行
発行：生徒支援会役員会

「そもそも、生徒支援会って何？」

平成22年5月29日(土)に、日本大学第三学園講堂にて生徒支援会設立総会が開催されました。改めて、生徒支援会設立経緯について説明します。

「今までは後援会という組織が運営？」

後援会と言われても、ピンと来ない方も多いと思います。日本大学第三中学・高等学校のOBの保護者の方々から選出された役員により運営された組織で、在校生保護者会員が納入した会費等により様々な活動を行っていただきました。

昨今、学校を取り巻く環境が激変し、教職員と在校生保護者が連携して、より良い学校環境を創出する必要性から、上記後援会を解散し、教職員と在校生保護者から選出された役員により、生徒支援会を立ち上げ、在校生の支援を目指して去年から組織されました。

「生徒支援会はPTAと違うの？」

基本的には、教職員と在校生保護者による組織であり、いわゆるPTAと同じ運営ですが、主役である在校生を全面的にバックアップし、より良い学校環境、教育環境の実現を目指し、生徒支援会と命名されました。

「生徒支援会ができて、何が変わるの？」

今までは、後援会に会費を納め、その使い道について会員総会で予算決算を承認するだけでしたが、今後は、教職員と在校生保護者による組織運営になりますから、その活動が身近なものになります。ややもすると学校とのパイプが太くはありませんでしたが、今後は生徒支援会がその学校とのパイプ組織になります。教職員と在校生保護者選出の役員が同じテーブルについて協議する場ができましたので、双方向のコミュニケーションが期待できます。会費の有効活用、保護者を通じた生徒支援、クラス担任と各保護者のコミュニケーション等、より良い学校環境を目指した活動が始まっています。

平成22年度は設立年ということもあり、その活動の礎を築く年と位置づけ、平成23年度の今年度から本格的な活動ができればと考えています。

一、其の中、麗しの花の
影を影に、明く争ふら
麗と争ふに、堪き想ふ
麗人われら、其の影を
日本三麗、この麗気風
二、麗よ、麗るく正しく麗べ
麗事は、麗るく麗る
麗日本、麗るく麗る
麗人われら、麗るく麗る
麗日本、麗るく麗る
三、麗よ、麗るく麗る
麗日本、麗るく麗る
麗人われら、麗るく麗る
麗日本、麗るく麗る

平成22年度の生徒支援会活動の軌跡

平成22年度検討目標は、

今年一年は、生徒支援会準備委員会として活動すること、
学校と各在校生徒保護者の連携の仕方として、各在校生徒保護者の生徒支援会へ
のご協力を浅く広くお願いする前提で、

- 1、在校生保護者と教職員による生徒支援会のあり方をこの1年で検討する。
- 2、在校生保護者と教職員間の双方向のコミュニケーションがある環境づくりを
検討する。
- 3、私立の中高一貫校としての生徒支援会のあり方を検討する。

と昨年の設立総会で皆様にお伝えしました。

それぞれの目標に対する今年度の活動成果と思われる事項は以下の通りです。

1、在校生保護者と教職員による生徒支援会のあり方について

- 1-1、生徒支援会会則の見直し、各種細則の制定
- 1-2、生徒支援会会計の見直し
- 1-3、校長先生、副校長先生の特別参加（来年度の教職員役員のあり方検討）
- 1-4、理事長の意向を踏まえた役員会の運営
- 1-5、打合せ前の議案作成とその周知（打合せの効率アップ）
- 1-6、打合せ後の議事メモ作成とそのファイリング（打合せ結果の共有）
- 1-7、幹事会での委員会立ち上げ、各委員会活動と役員会の連携方法検討
- 1-8、各種活動の継続性を考慮した申し送り事項の取りまとめ

2、双方向のコミュニケーションがある環境づくりについて

- 2-1、生徒支援会レター発行（創刊号、第2号、第3号、第4号、増刊号）
- 2-2、保護者会のあり方の再考
- 2-3、生徒支援会関連のホームページ立ち上げ検討（来年度導入予定）
- 2-4、保護者アンケートの実施と各会員への集計結果報告
- 2-5、教職員アンケートの実施と各会員への集計結果報告
- 2-6、校長先生を囲む会の企画と開催

3、私立中高一貫校としての生徒支援会のあり方について

- 3-1、私学中高協会第8支部父母の会活動との連携と大会参加
- 3-2、私学中高協会第8支部父母の会活動の周知活動
- 3-3、三覺祭の生徒支援会企画検討と三覺祭参加

色々な問題に直面しながらも、一つ一つ生徒支援会活動の礎を築こう
と、教職員役員と保護者役員が一体となり取り組んだ一年でした。



東京都私立中・高等学校協会 第8支部 父母の会 って何？

教育機会均等などの見地から、年々拡大する公立と私立の父母負担の教育費格差を国の予算によっては是正し、独自の校風を打ち出す私学が、私学の多様性を発揮するために経営を守り、父母負担軽減の為助成を維持することを目指した運動です。ご存知のように、現在の民主党政権から都立高校は完全無償化されました。そこで、東京都から助成をしていただき、完全無償化とまではいかなくとも出来るだけ都立高校との較差をなくしていこうというわけです。この組織は東京都私立学校246校(中学184・高等学校240)が加盟している私立学校の組織であり、教員と父母がともに活動しているものです。第8支部と言うのは、世田谷区、目黒区、町田 の計32校による組織で、全12支部の中では最大のものです。

生徒一人あたり200円が、みなさんの納めている学費の中から毎年協会に支払われています。また、都からの補助としては、年度により多少の増減はありますが、平成22年度実績として、生徒一人当たり約31,000円が支給されています。この都からの補助については、東京都の学校に通う全生徒に対して補助が行われるため、日大三高で言えば、どこから通ってこようが一律恩恵にあずかることとなりますので無関心ではられません。

毎年私学振興拡充大会があり、平成22年は、10月16日(土)日本工業大学駒場中学校・高等学校 アリーナにて行われ、生徒支援会役員とクラス幹事を中心に本校から51名が参加しました。「父母負担教育費の公私間較差の解消」「私立学校教育の充実のため、経常費補助の更なる拡充」を大会決議として採択しました。

現在茂木役員理事以下、理事2名、評議員3名の計6名の在校生保護者が本学園より選出され、活動されています。平成23年度は駒澤大学高等学校が支部校、日本大学第三中学高等学校は副支部校になっています。副支部校としての活動に対し、大会参加要請等皆様にご協力をお願いすることがあるかもしれません。その際は快くご協力いただきますようお願いいたします。

平成23年度の継続検討項目は？

平成23年度の生徒支援会活動として継続検討が想定される事項は、

- 1、保護者会の活性化（保護者間、保護者と担任の先生とのコミュニケーション）
- 2、在校生保護者対象の学校説明会開催（校長先生を囲む会の質疑回答）
- 3、クラス幹事の活動内容の整理
- 4、生徒支援会ホームページ立ち上げ
- 5、クラブ活動補助のあり方
- 6、保護者の茶話会企画

等が想定されます。すぐにできるもの、いろいろなハードルを越えて実現できるものがあると思います。平成23年度の生徒支援会役員会の活発な議論が期待されます。

生徒支援会の会議体には何があるの？

1、定期総会

総会は全会員をもって構成され、生徒支援会の最高議決機関です。年度初めの定期総会と必要に応じて開催される臨時総会があります。

2、役員会

教職員役員5名と在校生保護者役員10名で構成される会議体で、活動計画の審議、決算・予算の審議、幹事会・委員会に関する審議等を行っています。

3、幹事会

各クラスから選出されたクラス幹事により構成されます。年に2回開催され、保護者意見の収集、集約が期待されています。

4、委員会

上記幹事会に設けられた会議体で、平成22年度は、リサイクル委員会、イベント委員会、コミュニケーション委員会の3委員会で構成しました。

「クラス幹事ってどんな仕事をするの？」

平成22年度は、7月10日にクラス幹事参加による第一回幹事会を開催して、以下の三つの委員会を立ち上げ、生徒支援会活動を行いました。

1、リサイクル委員会（リサイクル活動担当）

制服リサイクル収集活動、三疊祭における制服リサイクル販売等

2、イベント委員会（学校行事支援活動担当）

三疊祭における保護者企画と実施、その他学校行事補助等

3、コミュニケーション委員会（新規活動検討担当）

新規生徒支援会活動の検討、保護者間コミュニケーション活性化検討等

今までは保護者会があっても、クラス担任と保護者のコミュニケーション、保護者同士のコミュニケーションがどちらかと言うと希薄だったと思います。

平成22年度の役員会では、保護者会のあり方を検討して、これらのコミュニケーションを可能な限り活性化することを目指してきました。同じ学校に子供達を通わせる保護者として、積極的にコミュニケーションを図っていくことが大事な時代になっていると思います。そこで、平成23年度は、クラス幹事が各クラス2名以内となる予定ですので、上記委員会活動に加え、本来のクラス内におけるコミュニケーションの活性化に向けた活動も期待されます。



編集後記

平成22年度の生徒支援会活動を礎に、生徒支援会が設立された主旨が一つ一つ実現していくことを願っています。保護者と教職員の意識が同じ方向を向いて、それぞれの立場を尊重しながら、手を携えてよりよい学校環境を目指すべく、平成23年度の生徒支援会活動の良いスタートが切れるよう皆様のご理解ご協力をお願いします。